

# 令和2年6月期（令和1年12月9日～令和2年6月8日）決算短信

令和2年7月16日

ファンド名 MAXIS HuaAn中国株式（上海180A株）上場投 信 上場取引所 東証  
 コード番号 2530  
 連動対象指標 円換算したSSE 180 インデックス  
 主要投資資産 株式  
 売買単位 1口  
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>  
 代表者名 取締役社長 松田 通  
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 笠間 悦男 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和2年9月7日  
 分配金支払開始予定日 —

## I ファンドの運用状況

### 1. 令和2年6月期の運用状況（令和1年12月9日～令和2年6月8日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和2年6月期	789	(96.6)	27	(3.4)	816	(100.0)
令和1年12月期	786	(99.0)	8	(1.0)	794	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和2年6月期	79	2	—	81
令和1年12月期	—	79	—	79

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
令和2年6月期	820	3	816	10,086
令和1年12月期	822	27	794	10,060

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
令和2年6月期	—
令和1年12月期	303

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無

## II 財務諸表等

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第1期 [ 令和1年12月8日現在 ]	第2期 [ 令和2年6月8日現在 ]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	30,044,042	21,589,589
コール・ローン	2,909,498	2,556,555
投資証券	786,583,274	789,193,793
派生商品評価勘定	-	1,369,594
差入委託証拠金	3,027,794	6,141,565
流動資産合計	822,564,608	820,851,096
資産合計	822,564,608	820,851,096
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	38,686	-
未払収益分配金	23,937,000	-
未払受託者報酬	127,244	131,854
未払委託者報酬	636,162	659,157
未払利息	1	4
その他未払費用	3,118,174	3,120,699
流動負債合計	27,857,267	3,911,714
負債合計	27,857,267	3,911,714
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	790,000,000	810,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	4,707,341	6,939,382
（分配準備積立金）	59,783	△1,235,936
元本等合計	794,707,341	816,939,382
純資産合計	794,707,341	816,939,382
負債純資産合計	822,564,608	820,851,096

## （2）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第1期		第2期	
	自 至	令和1年6月10日 令和1年12月8日	自 至	令和1年12月9日 令和2年6月8日
営業収益				
受取配当金		27,996,563		-
受取利息		94,070		21,554
有価証券売買等損益		△13,628,750		2,101,404
派生商品取引等損益		4,944,111		1,321,469
為替差損益		△13,889,803		972,887
営業収益合計		5,516,191		4,417,314
営業費用				
支払利息		2,868		2,066
受託者報酬		127,244		131,854
委託者報酬		636,162		659,157
その他費用		3,327,576		524,196
営業費用合計		4,093,850		1,317,273
営業利益又は営業損失（△）		1,422,341		3,100,041
経常利益又は経常損失（△）		1,422,341		3,100,041
当期純利益又は当期純損失（△）		1,422,341		3,100,041
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）		-		-
期首剰余金又は期首欠損金（△）		-		4,707,341
剰余金増加額又は欠損金減少額		27,222,000		-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		27,222,000		-
剰余金減少額又は欠損金増加額		-		868,000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		868,000
分配金		23,937,000		-
期末剰余金又は期末欠損金（△）		4,707,341		6,939,382

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	第1期 [令和1年12月8日現在]	第2期 [令和2年6月8日現在]
1. 期首元本額	—円	790,000,000円
期中追加設定元本額	790,000,000円	20,000,000円
期中一部解約元本額	—円	—円
2. 受益権の総数	79,000口	81,000口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第1期 自 令和1年6月10日 至 令和1年12月8日	第2期 自 令和1年12月9日 至 令和2年6月8日																																																												
<p>1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>28,087,765円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>28,087,765円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>4,090,982円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>23,996,783円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>23,937,000円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>59,783円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>79,000口</td> </tr> <tr> <td>1口当たり分配金額</td> <td>I=F/H</td> <td>303円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	28,087,765円	分配準備積立金額	B	—円	配当等収益合計額	C=A+B	28,087,765円	経費	D	4,090,982円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	23,996,783円	収益分配金金額	F	23,937,000円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	59,783円	当ファンドの期末残存口数	H	79,000口	1口当たり分配金額	I=F/H	303円	<p>1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>19,488円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>59,783円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>79,271円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>1,315,207円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△1,235,936円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>81,000口</td> </tr> <tr> <td>1口当たり分配金額</td> <td>I=F/H</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	19,488円	分配準備積立金額	B	59,783円	配当等収益合計額	C=A+B	79,271円	経費	D	1,315,207円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△1,235,936円	当ファンドの期末残存口数	H	81,000口	1口当たり分配金額	I=F/H	—円
項目																																																													
当期配当等収益額	A	28,087,765円																																																											
分配準備積立金額	B	—円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	28,087,765円																																																											
経費	D	4,090,982円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	23,996,783円																																																											
収益分配金金額	F	23,937,000円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	59,783円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	79,000口																																																											
1口当たり分配金額	I=F/H	303円																																																											
項目																																																													
当期配当等収益額	A	19,488円																																																											
分配準備積立金額	B	59,783円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	79,271円																																																											
経費	D	1,315,207円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																											
収益分配金金額	F	—円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△1,235,936円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	81,000口																																																											
1口当たり分配金額	I=F/H	—円																																																											

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第1期 自 令和1年6月10日 至 令和1年12月8日	第2期 自 令和1年12月9日 至 令和2年6月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、投資証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>当ファンドは、運用の効率化を図るために、株価指数先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。</p> <p>当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。</p> <p>また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p> <p>ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。</p> <p>また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	<p>同左</p>
--------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 [令和1年12月8日現在]	第2期 [令和2年6月8日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券                      売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引                      デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品                      上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第1期	第2期
----	-----	-----

	[令和1年12月8日現在]	[令和2年6月8日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
投資証券	△13,628,750	2,101,404
合計	△13,628,750	2,101,404

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

第1期 [令和1年12月8日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	4,521,056	—	4,483,516	△37,540
合計		4,521,056	—	4,483,516	△37,540

第2期 [令和2年6月8日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	25,598,614	—	26,968,208	1,369,594
合計		25,598,614	—	26,968,208	1,369,594

(注) 時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

通貨関連

第1期 [令和1年12月8日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 アメリカドル	25,433,830	—	25,434,976	△1,146
合計		25,433,830	—	25,434,976	△1,146

(注) 時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
  - ①為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
  - ②当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
    - (イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

第2期 [令和2年6月8日現在]

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第1期 [令和1年12月8日現在]	第2期 [令和2年6月8日現在]
1口当たり純資産額	10,060円	10,086円